

# 地球惑星科学委員会 国際連携分科会

## IASC 小委員会(24期・第4回)

日 時:2020年8月4日(火)10:30-11:55

会 場:北海道大学・北海道大学大学院環境科学院 および Webex による遠隔会議

出席者:杉本敦子

その他の場所から Webex による接続:原田尚美、榎本浩之、猪上淳、兒玉裕二、田畑伸一郎、山口一、檜山哲哉、吉森正和、中村卓司、堀雅裕、菊地隆、平譚亨、石川守、青木輝夫、深町康、竹内望

欠席:羽角博康、松浦陽次郎、高倉浩樹

オブザーバー:當房豊、柴田明穂、川合美千代、飯島慈裕、内田雅己

### 議題等

#### 1. IASC 小委員会 24期・第3回議事録の承認(資料1)

2019年12月17日に開催された IASC 小委員会 24期・第3回議事録が承認された。

#### 2. IASC WG メンバーの交代について(資料2,3)

2021年から下記 WG メンバーが就任することが承認された。

MWG 川合美千代氏

SHWG 岸上伸啓氏

IASCWG の2期目:柴田明穂氏

#### 3. ASSW2020 の報告

3月27日から4月2日にかけてオンラインで開催された ASSW2020 の各分科会の会合内容について、資料に基づき下記の各メンバーから報告された。

Council 榎本浩之 (榎本氏が Vice President に選出されたことが報告された)

AWG 猪上淳

CWG 青木輝夫

MWG 山口一

SHWG 田畑伸一郎

TWG 内田雅己

National Report の今後の予定について質問があり、今後も従来通り各 WG で作成、提出することが確認された。

ASSW2020 の報告は、北極環境研究コンソーシアム (JCAR: Japan Consortium for Arctic Environmental Research, <https://www.jcar.org/>)のニューズレターとして発行される予定である。

#### 4. ISAR-6 の報告 (資料4)

2020年3月に開催された第6回国際北極研究シンポジウム(ISAR-6)について、青木氏より報告された。ISAR-6は、JCARの主催により、当初2020年3月2日から6日にかけて一橋講堂(東京都千代田区)で開催予定であったが、新型コロナウイルスの日本国内での感染拡大が懸念されたため、一堂に会しての開催は中止とし、3/18-4/30の期間オンライン会合として開催した。

オンライン会合を1ヶ月の長期間開催したことの効果について質問があり、オンラインポスター上の議論で効果があったことが説明された。また、オンライン会合の技術的システムについては、他の会合や学会で参考にされていることが報告された。

ISAR-6についても、JCARのニューズレター (<https://www.jcar.org/>)として報告が出される予定である。

#### 5. その他

##### ・ArCS II の開始

ArCSII が開始されたことについて、実施内容を含めて榎本氏から報告があった。(資料は、<https://www.nipr.ac.jp/arcs2/>)

##### ・ASM3(第3回北極科学大臣会合)

ASM3は日本とアイスランドの共催で2020年11月に東京において会合が予定されていたが、2021年5月に延期された。現在、各国・国際団体からASM3へのインプットを収集中。Science Advisory Boardからのアドバイスを得て、声明文の下書きやScience Summaryの作成が行われる予定。11月頃より各テーマなどについてWebinarを開催予定であることが兒玉氏から報告された。また、Arctic Circle Japan Forumも同時に開催される予定である。

##### ・今後のIASC小委員会について

杉本委員長より資料に基づき説明があった。現在の定員20名から15名程度に削減すること、小委員会(3年)の任期をIASC-WG(4年)の任期に合わせることを考えていることが報告された。第25期の委員構成については、榎本氏、菊地氏、深町氏で候補者を検討する方針が説明された。